

【水彩画クラブ27】卒業後6年目の活動 2018年8、9月

◇第122回活動:2018年8月27日(月) 午後1時から ヌエック207室

活動開始時に関矢さんが会いに来られた。1時間ほど課題の描き方を聞かれて帰られた。

活動開始後に前回に仕上げた『自分の風景』作品を黒板上に並べ、内ちゃん先生から講評を受けた。作品を持ってきたのは4人だけだった。今日忘れた人は次回活動日に持ってくる。

今日から3回の活動で新しい課題写真『森林公園の水辺』を描いていく。

1. 1回目の今日は、上部分の枝と葉っぱ群を描いていく。

自宅で施してきた部分(一番手前にある葉っぱをマスキング。葉っぱ群の所々に見える空の透き間にマスキング)に、様々な緑色で葉っぱを塗っていく。

① 様々な緑色をつくる。

- a) 黄色の葉色 黄色の絵の具を水溶きしておく。
- b) 緑色の葉色 明るい緑色から暗緑色の絵の具を水溶きしておく。
黄色を混ぜて黄緑色をつくり、水溶きしておく。
- c) 暗い緑の葉色 c-1 暗緑色にオレンジ色を少量混色して濁った緑色をつくる。
c-2 暗緑色に黄灰色を混ぜて濁った緑色をつくる。

② 薄めの緑色や黄緑色などを小筆にとり、課題写真を見ながら夫々の場所に、葉っぱの形で葉群を描いていく。

③ ドライヤーで十分に乾かしてから、塗ってきた葉っぱにダブルマスキングしていく。

④ 塗った色をドライヤーで乾かしてから、課題写真の黄色く見える部分にドライブラシ技法で黄色を塗っていく。

⑤ 塗った色をドライヤーで乾かしてから、課題写真を見ながら濃い目の緑色や暗い緑色(c-1色とc-2色)で葉っぱを適当に描いていく。

⑥ 木の枝を描いていく。

濃い茶色に暗青色を少量混色して焦げ茶色を作り、課題写真を見ながら小筆で木の枝を描いていく。

※ ドライヤーで十分に乾かしてから、マスキングした箇所をキレイに剥した時点で今日の活動が終わった。

2. 次回(9月10日(月))の活動予定 (ヌエック207号室)

今日描いてきた葉群の左側下部分と、右側の黄色が目立つ木と葉群を描いていく。左側の黄色い葉っぱなどは黄色で葉っぱを描いてからマスキングし、木々なども焦げ茶色で描いてからマスキングを施す。

右側の葉っぱについては、一番手前にある葉っぱや枝木にマスキングしておく。

◇第123回活動:2018年9月10日(月) 午後1時から ヌエック207室

今日は久しぶりに関矢さんが最後まで活動に臨まれた。

内ちゃん先生の「あべとしゆき先生画塾」で描かれた作品10点ほど黒板上に披瀝された。

1. 2回目の今日は、中程の枝木と葉群を描いていく。

中程の枝木と葉群に様々な緑色で葉っぱを描いていく。

① 様々な緑色をつくる。

- a) 黄色の葉色 黄色の絵の具を水溶きしておく。
- b) 緑色の葉色 明るい緑色から暗緑色の絵の具を水溶きしておく。
黄色を混ぜて黄緑色をつくり、水溶きしておく。
- c) 暗い緑の葉色 c-1 暗緑色にオレンジ色を少量混色して濁った緑色をつくる。
c-2 暗緑色に黄灰色を混ぜて濁った緑色をつくる。

② 薄目の緑色や黄緑色を小筆にとり、課題写真を見ながら適当なところに、様々な向きの葉っぱを葉の形で描いていく。

左側の枝木にある葉群にも、薄め目の緑色で同じように葉の形で適当に描いていく。

③ ドライヤーで十分に乾かしてから、塗ってきた葉っぱにダブルマスキングを施していく。

2. 上部右側や中程で白き見えるところに、水色を塗っていく。

① 明るい青色に深い青色を少量混ぜ、薄めに水溶きする。

② 白く空いている部分にハケで水を塗ってから、平筆につくった水色を含ませ、サーッと薄めに塗っていく。濃い目になった部分はティッシュでサーッと綺麗に拭き取っておく。

3. 中央部に茶色っぽく見える部分を塗っていく。

① オレンジ色に黄灰色を少量混ぜ、薄めに水溶きしておく。

② 課題写真を見ながら中央部の茶系に見えるところに、小筆に前項①の色を取り、横に水面を描くように塗っていく。

4. 今日の仕上げ

① 塗った部分をドライヤーで十分に乾かしてから、課題写真を見ながら細い枝木を描いていく。

- ② ドライヤーで乾かしてから赤枠①と、赤枠②の左端1センチほどを残して施したマスキングを綺麗に剥していく。
- ③ 薄めに描いてきた枝木の茶色を、黒っぽい焦げ茶色で上塗りして濃い目の枝木に描いていく。

5. 宿題

- ① 中程左側部分の水面を描いてくる。
黄色い葉っぱの上部分に見える白い波紋に、マスキングインクが付いて硬くなっている小筆を使い、課題写真を見ながら波紋スジを描いていく。
- ② 中程中央部から下部にわたる水面の波筋を、課題写真を良く見ながら穂先が細く硬くなった小筆で波紋スジを描くようにマスキングする。

6. 次回(9月24日(月))の活動予定 研修棟207号室
 今回は中央から下部分全体の水面を描いていきます。

◆第124回活動:2018年9月24日(月) 午後1時から ヌエック207室 関矢さんが今日も1時から最後まで活動に励まれた。

今回の活動から描いていく課題写真『乗鞍高原の水辺』を配布された。(最後に宿題を提示された)

1. 3回目の今日は、中央部のメイン水面と最下部の水面を描いていく。
 - ① 黒板に今日習作する要点を提示された。
 - (1) 水面の流れをマスキング (宿題でやってきた)
 - (2) 水面に映る葉っぱ等に色を塗る。
 - (a、bと順をおってやっていっても、一緒にやっても良い)
 - a) 明るい色を塗ってからマスキング
 - b) 次の色(少し濃い目)を塗ってからマスキング
 - ② 様々な緑色をつくる。
 - a) 黄色の葉色 黄色の絵の具を水溶きしておく。
 - b) 緑色の葉色 明るい緑色から暗緑色の絵の具を水溶きしておく。
黄色を混ぜて黄緑色をつくり、水溶きしておく。
 - c) 暗い緑の葉色 c-1 暗緑色にオレンジ色を少量混色して濁った緑色をつくる。
c-2 暗緑色に黄灰色を混ぜて濁った緑色をつくる。
 - d) 青色もつくっておく。
暗青色、明るい青色などの青色や、その青色と緑色を混色して青緑色をつくり、水溶きしておく。
 2. 中央部分の明るい水面や、最下部の少し濃いめの水面に薄く色を塗っていく。
 - ① 課題写真を見ながら、明るい部分に黄色や緑色などを、サーッと平筆で塗っていき、直ぐに水筆で広げていく。
 - ② 課題写真を見ながら、少し濃い目になっている部分に濃い目の緑色や濁った緑色、青みがかかった緑色などをサーッと平筆で塗っていき、直ぐに水筆で広げていく。
 3. ドライヤーで十分に乾かしてから、課題写真を見ながら水面の流れをマスキングしていく。
 4. マスキングインクをドライヤーで十分に乾かしてから、流れに沿った濃い緑色や青っぽい緑色の影を小筆でサッサッと描いていき、直ぐに水筆で横方向に伸ばすようにぼかしていく。
 5. 下部の右端水面にある青い流れの影は、中央部に見える倒れたY字状の影は描かない。
その他の青っぽい影は淡く水溶きした青色を小筆に取り、課題写真を見ながら薄く描いていき、水筆で周囲をぼかしていく。
 6. ドライヤーで十分に乾かしてから、施していたマスキングインクをキレイに剥し取り、爪楊枝先にスポンジ小片をテープで留めたぼかし用具を用い、スポンジ部を水に濡らして最初にしたマスキング跡の白い波筋の先端や周囲をぼかしていく。
- ※ 午後4時になり今日の習作活動を終了した。未仕上げの人は自宅で仕上げてくること。
7. 次回(10月8日(月))の活動予定 研修棟207号室
 自宅で準備してくること(宿題)
 - ① B4判サイズ2枚で配布された課題写真、黒印点に合わせて貼り合わせ、手本台にセットする。
 - ② F8のウォーターフォード水彩紙を水張りし、良く乾いてからデッサンする。
 - ③ 課題写真を見ながら、
 - a) 右側の白く見える葉っぱや地面で見える白く所にマスキングする。
 - b) 半分だけ白っぽい葉っぱや、右側上部の黄色っぽい緑の葉っぱ、一番表面にある葉っぱにもマスキングする。